

## 部分空間 演習問題 1 解答

問 1. 以下の  $W$  は  $\mathbb{R}^2$  の部分空間ではない. 理由をそれぞれ述べよ.

(i)

$$W = \left\{ \mathbf{x} = \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^2 \mid x - y = 1 \right\}$$

解答.  $\mathbb{R}^2$  の零ベクトル  $\mathbf{o} = \begin{bmatrix} 0 \\ 0 \end{bmatrix}$  について,  $0 - 0 = 0 \neq 1$  であるから,  $\mathbf{o} \notin W$  である. したがって  $W$  は  $\mathbb{R}^2$  の部分空間ではない. ■

(ii)

$$W = \left\{ \mathbf{x} = \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^2 \mid y \geq 0 \right\}$$

解答.  $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} 0 \\ 1 \end{bmatrix}$  とする.  $1 \geq 0$  より  $\mathbf{a} \in W$  であるが,  $(-1)\mathbf{a} = \begin{bmatrix} 0 \\ -1 \end{bmatrix}$  であって,  $-1 < 0$  より  $(-1)\mathbf{a} \notin W$  である. したがって  $W$  は  $\mathbb{R}^2$  の部分空間ではない. ■

(iii)

$$W = \left\{ \mathbf{x} = \begin{bmatrix} x \\ y \end{bmatrix} \in \mathbb{R}^2 \mid xy \geq 0 \right\}$$

解答.  $\mathbf{a} = \begin{bmatrix} 1 \\ 0 \end{bmatrix}$ ,  $\mathbf{b} = \begin{bmatrix} 0 \\ -1 \end{bmatrix}$  とする.  $1 \cdot 0 = 0 \geq 0$ ,  $0 \cdot (-1) = 0 \geq 0$  より,  $\mathbf{a}, \mathbf{b} \in W$  であるが,  $\mathbf{a} + \mathbf{b} = \begin{bmatrix} 1 \\ -1 \end{bmatrix}$  であって,  $1 \cdot (-1) = -1 < 0$  より  $\mathbf{a} + \mathbf{b} \notin W$  とわかる. したがって  $W$  は  $\mathbb{R}^2$  の部分空間ではない. ■

問 2.  $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_r \in \mathbb{R}^n$  とするとき,  $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_r$  の 1 次結合全体からなる集合,

$$\{x_1\mathbf{a}_1 + x_2\mathbf{a}_2 + \dots + x_r\mathbf{a}_r \mid x_1, x_2, \dots, x_r \in \mathbb{R}\}$$

を,  $\langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_r \rangle$  と表す.  $\langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_r \rangle$  は,  $\mathbb{R}^n$  の部分空間であることを示せ.

解答.  $\mathbf{x}, \mathbf{y} \in \langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_r \rangle$ ,  $k, \ell \in \mathbb{R}$  とする. このとき  $k\mathbf{x} + \ell\mathbf{y} \in \langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_r \rangle$  となることを示せばよい.  $\mathbf{x}, \mathbf{y} \in \langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_r \rangle$  より,  $\mathbf{x}$  と  $\mathbf{y}$  はある  $x_1, x_2, \dots, x_r, y_1, y_2, \dots, y_r \in \mathbb{R}$  を用いて

$$\begin{aligned} \mathbf{x} &= x_1\mathbf{a}_1 + x_2\mathbf{a}_2 + \dots + x_r\mathbf{a}_r, \\ \mathbf{y} &= y_1\mathbf{a}_1 + y_2\mathbf{a}_2 + \dots + y_r\mathbf{a}_r \end{aligned}$$

と表される. したがって,

$$\begin{aligned} k\mathbf{x} + \ell\mathbf{y} &= k(x_1\mathbf{a}_1 + x_2\mathbf{a}_2 + \dots + x_r\mathbf{a}_r) + \ell(y_1\mathbf{a}_1 + y_2\mathbf{a}_2 + \dots + y_r\mathbf{a}_r) \\ &= (kx_1 + \ell y_1)\mathbf{a}_1 + (kx_2 + \ell y_2)\mathbf{a}_2 + \dots + (kx_r + \ell y_r)\mathbf{a}_r \in \langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_r \rangle. \end{aligned}$$

よって,  $\langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \dots, \mathbf{a}_r \rangle$  は  $\mathbb{R}^n$  の部分空間である. ■

**問 3.**  $A$  を  $m \times n$  行列とし,  $W$  を同次連立 1 次方程式  $Ax = \mathbf{o}$  の解空間とする. すなわち

$$W = \{x \in \mathbb{R}^n \mid Ax = \mathbf{o}\}$$

とする.  $W$  は,  $\mathbb{R}^n$  の部分空間であることを示せ.

**解答.**  $x, y \in W, k, \ell \in \mathbb{R}$  とする. このとき  $kx + \ell y \in W$  となることを示せばよい.  $x, y \in W$  であるから,  $Ax = \mathbf{o}, Ay = \mathbf{o}$  が成り立つ. よって

$$A(kx + \ell y) = A(kx) + A(\ell y) = k(Ax) + \ell(Ay) = k\mathbf{o} + \ell\mathbf{o} = \mathbf{o},$$

すなわち,  $kx + \ell y \in W$  とわかる. したがって  $W$  は  $\mathbb{R}^n$  の部分空間となる. ■

Point

$W \subset \mathbb{R}^n$  が  $\mathbb{R}^n$  の部分空間であるとは, 以下の 3 つの条件をみたすことである.

(S0)  $\mathbf{o} \in W$ . ( $\mathbf{o}$  は  $\mathbb{R}^n$  の零ベクトル)

(S1)  $a, b \in W$  ならば,  $a + b \in W$ .

(S2)  $a \in W, k \in \mathbb{R}$  ならば,  $ka \in W$ .

$W \neq \emptyset$  のときは, (S2) から (S0) が導かれることにも注意せよ. また, (S1)(S2) は 1 つにまとめて以下の条件と置き換えられる.

(S3)  $a, b \in W, k, \ell \in \mathbb{R}$  ならば,  $ka + \ell b \in W$ .

$W \subset \mathbb{R}^n$  が  $\mathbb{R}^n$  の部分空間であることを示すためには, (S0), (S1) と (S2) (もしくは (S3)) が成り立つことを確かめればよく,  $W$  が  $\mathbb{R}^n$  の部分空間でないことを示すためには, (S0)~(S3) のいずれかが成立しないこと, 例えば反例を挙げればよい.